

宮脇遺跡 第51地点

遺跡名	宮脇遺跡
よみがな	みやわきいせき
調査地点	第51地点
主な時代	縄文時代中期（約5000年前）、中近世（約700～200年前）
調査地	富士見市羽沢3丁目1587-1
調査面積	254 m ²
調査期間	平成28年9月12日～26日
調査内容	<p>【確認された主な遺構】 縄文時代中期集石1基 中近世火葬墓3基、溝跡1条、柱穴列1列</p> <p>【出土した主な遺物】 縄文時代前期の縄文土器</p> <p>【概要】 確認された火葬墓3基からは多量の焼土塊や炭化材とともに、骨粉や骨片が出土しました。時代の特定できる遺物が出土しなかったため、時代の詳細は不明ですが、中近世と思われる溝跡が土で埋まった後に掘り込まれているため、溝跡が掘り込まれた時期とほぼ同時期か、それ以降のものと考えられます。 また、当遺跡では、これまでに縄文時代中期の竪穴住居跡が検出され、集落が広がっていることが確認されていることから、今回確認された同時期の集石1基はこの集落内で構築され、使われていたものと捉えられます。</p>



確認された遺構群



火葬墓から出土した炭化材と焼土塊



溝跡の完掘状況



確認された柱穴列